

# 日本 P T A 全国研究札幌大会報告書

富士市 P T A 連絡協議会

会 長 齋藤 直樹

第 63 回日本 P T A 全国研究大会札幌大会に出席しての報告をさせていただきます。北の大地、札幌行われた今年の全国大会、静岡県からは東部、中部、西部合わせて 65 名の P T A 会長、副会長等での出席を致しました。

昨年の長崎大会との違い、分科会会場がコンパクトに札幌市内 1 箇所にとまっていることで移動に不便を感じなかった。全国大会に出席し、得た情報の一部ではありますが列記させていただきます。

時代の流れにより近年の問題はデジタル化による問題がクローズアップしてきている。携帯電話、スマホ、ゲーム機の話は勿論であるが、私が特に注目したのは「デジタル教科書」についてである。まだ導入については検討課題が多く見られるがいずれデジタル教科書を導入されるかもしれない。下記に検討課題を列記します。

「デジタル教科書」に関する検討課題 (デジタル教科書検討会配布資料より作成)

- ・教科書の意義について  
(全ての児童生徒の学習の拠り所となる主たる教材として、質をどのように確保すべきか。)
- ・教育効果について  
(紙と電子媒体の違い、発達段階の違い、教科の特性等をどのように考えるか。)(障害のある児童生徒等の学習への寄与をどのように考えるか。)
- ・使用に係る配慮事項について  
( I C T 活用に当たっての児童生徒の健康面への配慮をどのように考えるか。 ) 情報端末への依存症や有害情報へのアクセス等の懸念にどのように対応するか。
- ・教科書使用の在り方について  
(デジタル教科書を紙の教科書に代替しうるものとするか、全ての学校において使用すべきものとするか。)
- ・導入、活用のコストと費用負担について  
(学校教育費用全体の中でのコストをどのように考えるか。購入費の負担をどのように考えるか。)
- ・環境整備について  
(学校、家庭におけるネットワーク環境、デジタル機器の整備をどのように考えるか。)

## 特別第1分科会について

「子の未来（ゆめ）を知り、支援する保護者の力」

提言者・対談講師 千堂あきほ氏

・対談者 沢 英里子氏

小さな夢、中位の夢、大きな夢と段階に分けて子供達に持たせても良いかも、周りの大人が夢を持っていないでは子ども達に手本にならない等。

寝てみる夢ではなく、努力し信じれば夢は叶うもと……。

年々大きく変貌し混迷の度合いもましている現代社会に生きる子どもが、日常、何を考え、どのように進みどんな大人になろうとしているのか、どんなことに悩み、どのような夢に向かっているのか、社会にどのような期待をもっているのか等を直接中学生 5 名のパネラーから聞いたが、選ばれてパネラーになった中学生なのでしっかりとした生徒たちであった。一般の生徒たちの生の声とは多少温度差があるのではないかと思った。税金、国民医療費、環境問題、年金問題、国の負債等いろいろな問題を子どもながらに考えている。我々、保護者たちも子ども達の手本となるよう勉強して行かなくてはと感じさせられるパネルディスカッションであった。

今後、富士市 PTA 連絡協議会においても子ども達とのディスカッションの場を作り話し合っても良い機会ができるのではないかと思った。

今回の全国大会に行った良い経験を富士市 PTA 連絡協議会にフィードバックさせ今後の PTA 活動に生かしていく所存です。

以上